| 一関工業高等専門学校 | 開講年度 | 平成29年度 (2017年度) | 授業科目 | 地域創造学 |
|---|---|---|---|---|

## 科目基礎情報

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目番号 | 0001 | 科目区分 | 専門 / 選択 |
| 授業形態 | 演習 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 1 |
| 開設学科 | 機械工学科 | 対象学年 | 4 |
| 開設期 | 後期 | 週時間数 | 2 |
| 教科書/教材 | エンジニアリングデザイン入門(理工図書) | | |
| 担当教員 | 鈴木 明宏,佐藤 昭規 | | |

## 到達目標

地域の企業、自治体、NPOなどの現場に触れることによって、その現状、魅力、課題などを学び、体験する。教員と企業、自治体などとのチームティーチングにより、自主性、考える力、問題解決能力を養い、問題解決能力、創造性を育成する。
教育目標： C,D,E　学習・教育到達目標：　C-3, D-2, E-2

## ルーブリック

| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 |
|---|---|---|---|
| 評価項目1 | | | |
| 評価項目2 | | | |
| 評価項目3 | | | |

## 学科の到達目標項目との関係

## 教育方法等

| | |
|---|---|
| 概要 | 地域の企業、自治体、NPOなどの現場に触れることによって、その現状、魅力、課題などを学び、体験する。教員と企業、自治体などとのチームティーチングにより、自主性、考える力、問題解決能力を養い、問題解決能力、創造性を育成する。 |
| 授業の進め方・方法 | 前回の授業部分を復習して班別作業に当たること。全ての作業、発表はグループ毎に行うが、リーダーシップを発揮して、積極的に取り組むこと。現場見学の際は注意を守り、身だしなみに注意し、挨拶を心がけること。未知の事柄が多いので積極的 に調査を行うこと。 |
| 注意点 | 前回の授業部分を復習して班別作業に当たること。評価は2回の成果報告会の結果に出席状況、授業参加の積極性等を加味して行う。<br>成果報告会には、教員の他に協力を頂いた市工業課または企業の方に参加して頂き、複数の審査員によって、複数の項目について評価を行う。総合成績６０点以上を単位修得とする。 |

## 授業計画

| | | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 |
|---|---|---|---|---|
| 後期 | 3rdQ | 1週 | ガイダンス「課題達成の進め方」 | |
| | | 2週 | 手法の事前学習「思考展開図」 | |
| | | 3週 | 課題達成型学習 ①企業との連携(工場見学) | |
| | | 4週 | 班別作業(調査・討論) | (1)グループ内の役割分担しながら、自主的に活動できる。<br>(2)自ら課題に対する調査が出来る。<br>(3)グループ内で自分の意見を述べることが出来る。<br>(4)課題に対する報告書をまとめることが出来る。<br>(5)論理的でわかりやすくプレゼンテーションが出来る。 |
| | | 5週 | 班別作業(調査・討論) | (1)グループ内の役割分担しながら、自主的に活動できる。<br>(2)自ら課題に対する調査が出来る。<br>(3)グループ内で自分の意見を述べることが出来る。<br>(4)課題に対する報告書をまとめることが出来る。<br>(5)論理的でわかりやすくプレゼンテーションが出来る。 |
| | | 6週 | 班別作業(調査・討論) | (1)グループ内の役割分担しながら、自主的に活動できる。<br>(2)自ら課題に対する調査が出来る。<br>(3)グループ内で自分の意見を述べることが出来る。<br>(4)課題に対する報告書をまとめることが出来る。<br>(5)論理的でわかりやすくプレゼンテーションが出来る。 |
| | | 7週 | 成果報告会 | (1)グループ内の役割分担しながら、自主的に活動できる。<br>(2)自ら課題に対する調査が出来る。<br>(3)グループ内で自分の意見を述べることが出来る。<br>(4)課題に対する報告書をまとめることが出来る。<br>(5)論理的でわかりやすくプレゼンテーションが出来る。 |
| | | 8週 | 手法の事前学習 | |
| | 4thQ | 9週 | 課題達成型学習 ②一関市との連携 | |
| | | 10週 | 班別作業(調査・討論) | (1)グループ内の役割分担しながら、自主的に活動できる。<br>(2)自ら課題に対する調査が出来る。<br>(3)グループ内で自分の意見を述べることが出来る。<br>(4)課題に対する報告書をまとめることが出来る。<br>(5)論理的でわかりやすくプレゼンテーションが出来る。 |
| | | 11週 | 班別作業(調査・討論) | (1)グループ内の役割分担しながら、自主的に活動できる。<br>(2)自ら課題に対する調査が出来る。<br>(3)グループ内で自分の意見を述べることが出来る。<br>(4)課題に対する報告書をまとめることが出来る。<br>(5)論理的でわかりやすくプレゼンテーションが出来る。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 12週 | 班別作業(調査・討論) | (1)グループ内の役割分担しながら、自主的に活動できる。<br>(2)自ら課題に対する調査が出来る。<br>(3)グループ内で自分の意見を述べることが出来る。<br>(4)課題に対する報告書をまとめることが出来る。<br>(5)論理的でわかりやすくプレゼンテーションが出来る。 |
| | | 13週 | 班別作業(調査・討論) | (1)グループ内の役割分担しながら、自主的に活動できる。<br>(2)自ら課題に対する調査が出来る。<br>(3)グループ内で自分の意見を述べることが出来る。<br>(4)課題に対する報告書をまとめることが出来る。<br>(5)論理的でわかりやすくプレゼンテーションが出来る。 |
| | | 14週 | 成果報告会 | (1)グループ内の役割分担しながら、自主的に活動できる。<br>(2)自ら課題に対する調査が出来る。<br>(3)グループ内で自分の意見を述べることが出来る。<br>(4)課題に対する報告書をまとめることが出来る。<br>(5)論理的でわかりやすくプレゼンテーションが出来る。 |
| | | 15週 | 各学科報告、報告書作成 | |
| | | 16週 | | |

## モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|---|---|---|---|---|---|

## 評価割合

| | 課題 | 成果発表 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 総合評価割合 | 20 | 80 | 100 |
| 基礎的能力 | 20 | 40 | 60 |
| 専門的能力 | 0 | 40 | 40 |